

第2回徳島市学校給食調理業務検討委員会 会議録

日時 令和元年7月26日(金) 午前10時～午前11時30分
場所 徳島市役所 8階 庁議室
出席者 委員9人、事務局

1 開会

2 議題(1) 徳島市学校給食調理業務の民間委託について

【事務局】

資料1	徳島市学校給食調理業務の民間委託の方法について	説明
資料2	学校給食の流れと民間委託の業務分別について	説明
参考資料1	入札とプロポーザルの違いについて	説明
参考資料2	令和元年度 学校別食数	説明
参考資料3	文部科学省 学校給食衛生管理基準	

【F委員】

- ・民間委託するにあたり、資料の概算にある1億6千万円を委託する民間委託業者に支払う。そのうち会社に働きにきてくれる調理員(社員)の方にどれくらいの給料が支払われているのか気にかけてほしい。会社の取り分が大きく社員の方の取り分が少ないといろいろな問題が出てくる可能性がある。

【A委員】

- ・民間委託業者の選択ということだが、事務局にいろいろ考えてもらいたい。

【事務局】

- ・民間委託業者の何業者かに少し話を聞いている。臨時調理員についても、現在の来てもらっている方に優先的に声をかけ、現給保障も可能であるとは聞いている。
- ・仕様書の内容にも記載することもできる。

【A委員】

- ・きつい大変な仕事でもあり、要件もある、給食に跳ね返ってくることもあるので、しっかりと考えてほしい。

【D委員】

- ・資料を見て、事務局の事前の調査等に基づくデータの積み上げに安心した。以前の私の赴任地の学校では、給食センターを民間委託していたが、3,500人の給食を作り、それが美味しかった。
- ・徳島市の場合は差異がどこにあるのかを考えると、既存の学校の調理場を使用する、食材等の納入についても変わりなし、献立も献立作成委員会等で作成する。学校現場と

しては、給食室で調理をする立場の人が、市職員の調理員であるか民間委託の会社の人であるかだけの差異である。

- ・民間委託により経費が削減されるのであれば進めてほしい。
- ・新しく物事を始める時というのは、不安要素がつきまとうがとりあえずやってみて、問題点があればその時に工夫・改善すればいいと思う。
- ・民間委託に関して綿密に計画を考えられているので安心して進められるのではないかという感想をもった。

【C委員】

- ・事務局の説明を聞き、給食の主な流れが今までどおり、ほとんど変わらないシステムで給食を提供いただけることは学校側からすると安心である。
- ・民間委託になった場合、教育として学校給食の目的及び向上にどれくらい関わってもらえるのか知りたい。
- ・例えば、小学校の場合入学した1年生は学校探検をする。いろいろな教室をはじめ、学校中の施設・設備を体験する中で、もちろん給食室の様子も作業の妨げにならない範囲で見学をしたり、調理員さんのインタビューもさせてもらいながら、給食を作る調理員さんの思いをお話いただき、子供たちもそれを機に給食がますます好きになったり、距離を縮めたりというような学習をしている。このような体験が継続できるのか。
- ・現在、実施している「食べりんピック」のような残食調査や子ども達が育てた野菜を給食に使用してもらい、子供たちに食べてもらうというような取組みをしている学校もある。このような取組みも継続してもらえるのか。

【事務局】

- ・事前に何社か食育の推進について聞いてみると、食育についてはどんどん関わっていているということである。実際に市が実施している「食べりんピック」は、美味しく給食を食べて残食を減らす残食調査である。子ども達が学校で栽培した食材も給食に取り入れることはできる等、十分対応は可能であるということだった。
- ・仕様書等にも盛り込んで食育の活動に関わってもらえることはできる。

【A委員】

- ・学校にとって、食育の推進はとても重要であり、工夫・努力してもらえる業者の選定は重要である。

【E委員】

- ・前回の会議で、外部委託をするのであれば、この学校は外部委託、そうでない学校は今までどおり調理員さんがいるという事を聞いたが、先ほど言われた定数は、中学校全体でということか。

【事務局】

- ・中学校の、概ね500食以上の学校8校を委託した場合について、配属になる調理員の定数が36名になる。現在、正規調理員がその8校に27名配属されているので、そ

の27名と令和3年の欠員の27名が合致するため、令和3年度より実施するという案を示している。

【E委員】

- ・ということは、令和3年度から36名の方が外部委託で調理員として入られる。令和4年、5年と欠員分の人件費が下がるのはどういうことか。

【事務局】

- ・令和3年度からも毎年退職者が出てくる。この退職者の方々の人件費が金額を下げていくような形である。

【E委員】

- ・市全体でこの削減ができるということなのか

【事務局】

- ・はい

【I委員】

- ・この民間委託の方法について（案）という資料の中で、自校の調理方式を継続するとあるが、私もこれが良いと思っている。
- ・自校の給食室で作り、子供に食べてもらうというのは、作り手側と食べる側の距離が近くなるという意味で食育の観点からも非常に有効である。
- ・C委員から民間委託になった場合、食育の面からも今まで通りの関わりをしてもらえるかという意見があったが、他市町村ですでに民間委託を単独調理場で実施している学校の状況を聞いたが、民間からの調理員さんと子供たちは、それまでと変わりなく接する機会が今までどおり続いている。また、給食室と学校側の連携を円滑にするための役割として、栄養教諭であったり、学校栄養職員であったりする。
- ・居ない場合は、徳島市の場合は各学校に1人、食育リーダーという先生を置いているので、その先生に学校のコーディネーター的役割を担ってもらい、給食室との連携を図り、継続していくことができる。

【A委員】

- ・自校調理方式の良さ、また食育はとても大切である。子供たちが調理員さんとふれあい、仕事を知ることによって給食をたくさん食べられる子供が増えたという話も聞いたことがある。そういう事も把握してほしい。

【H委員】

- ・前回の会でも委託に出した場合、当初の金額は高くなると言っていたが、今回の概算でもやはり1年目は高くなっている。しかし、正規調理員の退職者が勧奨で増えた場合は、すぐに逆転するような数字となっている。現在は、臨時職員の雇用状況がかなり悪くなっている。
- ・募集しても応募がない。
- ・このような状況から令和3年度よりスタートしたいと考えている。

【A委員】

- ・経費削減効果はかなり気になるところである。

【G委員】

- ・私もこの案というか構成でよいのではないかと思う。保護者の方からも話があったように一番大事なのは、子供たちにこれまでどおり安全な給食を提供できるかということころ、もちろん経費削減も大事であるがそこが一番である。
- ・委託の方式としてはプロポーザル方式を活用したほうが、より給食の安全を確保することができると思う。

【B委員】

- ・以前の勤務先で委託を経験している。今までの話の中でも出てきた「間」をつなぐ業者の人達と子ども達をつなぐというところで、やはり栄養教諭やリーダーの先生方への働きかけが非常に大事であると感じている。
- ・委託をしたら現状維持ではなく、さらに食育の面に効果が発揮されてという風になってほしい。
- ・仕様書をきっちり仕上げていく過程で、今まで出た委員の意見をしっかり盛り込んでいただきたい。

【A委員】

- ・先ほどから8校を想定してとのことだが、具体的には食数の多いところなのか。つなぐ役割の栄養教諭、栄養職員の配置も含め考えているのか。

【事務局】

- ・参考資料2の中にある中学校の中で、栄養職員、栄養教諭が配置されている学校は、徳島中学校、城西中学校、城東中学校、加茂名中学校、八万中学校、南部中学校、川内中学校、国府中学校の8校である。

【A委員】

- ・その学校は、それぞれ500食以上または500食に近い学校ということになるのか。

【事務局】

- ・栄養教諭等の配置については、550食以上に1名、それ以下については4校に1名と県から配置されている。
- ・概ね500食以上、川内中学校は455食となっているが、中規模・大規模校に含まれる。

【A委員】

- ・私自身も栄養教諭、栄養職員が配置されている学校から始める方向性でよいと思う。
- ・調理員に対する研修等は、委託になると委託会社が行うのか。そういうことを含め考えると栄養教諭、栄養職員がいるほうがスムーズに進むと思う。

【事務局】

- ・民間委託先の調理員の研修については、民間委託業者が実施する。

【F委員】

- ・令和3年度から8校の中学校が民間委託をスタートするとしたら、その中学校の保護者に対するの説明会や通知文の送付を考えているのか。

【事務局】

- ・それについては、学校で保護者会総会等があると思うので、そういう機会を通じて説明をさせてもらいたい。

【F委員】

- ・役員の方に説明した後に全保護者に対し説明するという流れにしてほしい。
- ・文書なりの報告をある程度回数を多くしたほうがよい。

【H委員】

- ・まず役員の方に説明し、全保護者に対し文書や説明会で説明するという形でよいか。

【事務局】

- ・その点については、事務局でも考えていきたい。市のホームページには本検討委員会の議事録を順次掲載していく。

【A委員】

- ・民間委託については、委員の皆様によりまずは令和3年度に栄養教諭、栄養職員のいる中学校8校から始めるという方向性が決まったので、これを具体的に進めてもらいたい。

【事務局】

- ・それでは、この方向性で提言書の作成を進めていく。次回の会でご協議いただく資料を提示したい。

以 上